

ディペンダブルVLSIシステムワークショップ2011  
パネルディスカッション・ポジショントーク

## ディペンダブルVLSI研究インフラストラクチャの構築:

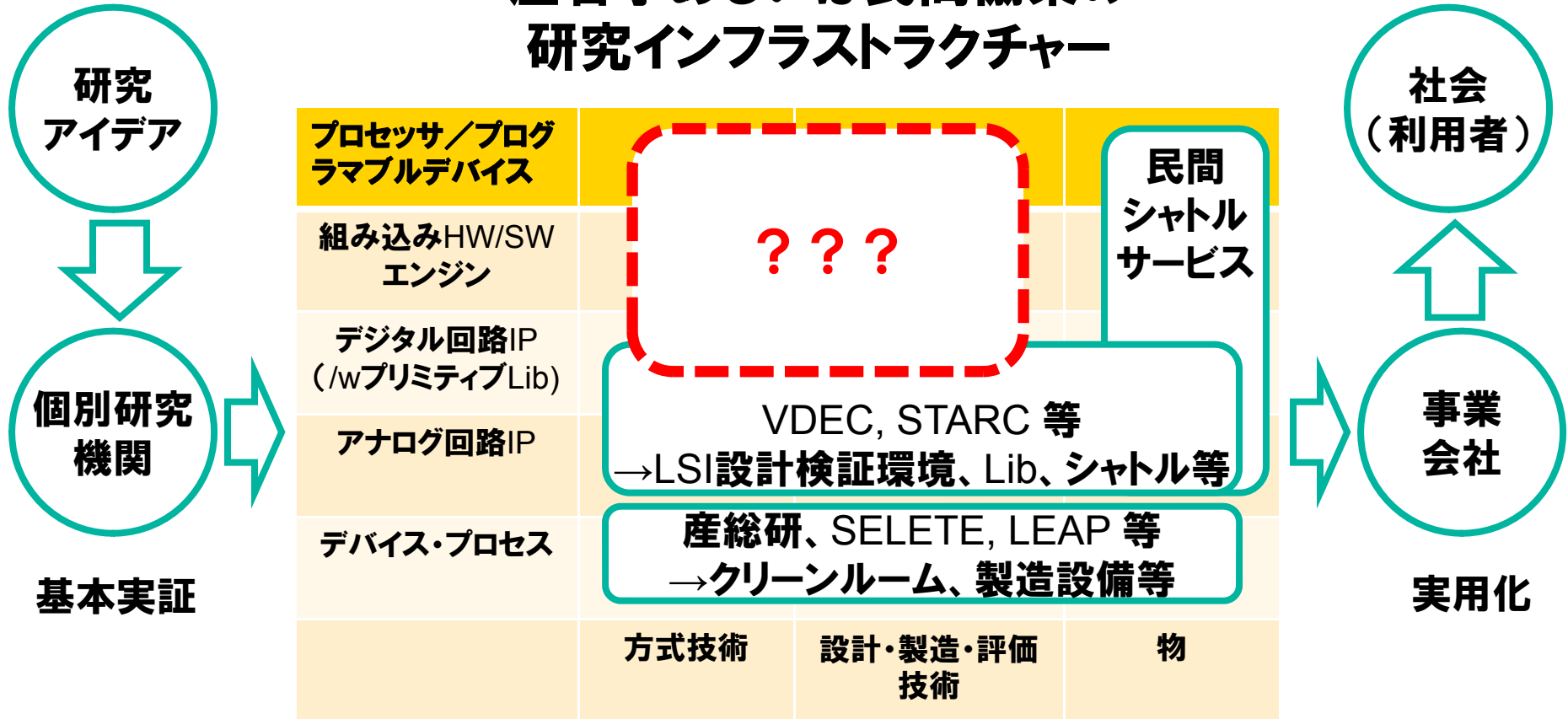
VLSIシステムのディペンダビリティ向上に役立つVLSIデザイン  
(アーキテクチャ、モジュール、回路、セルなどのいわゆるIP)、  
設計・検証ツール、シミュレータ、エミュレータ、ベンチマークなどを供試するインフラ

2011年3月5日

日本電気(株) システムIPコア研究所  
西 直樹

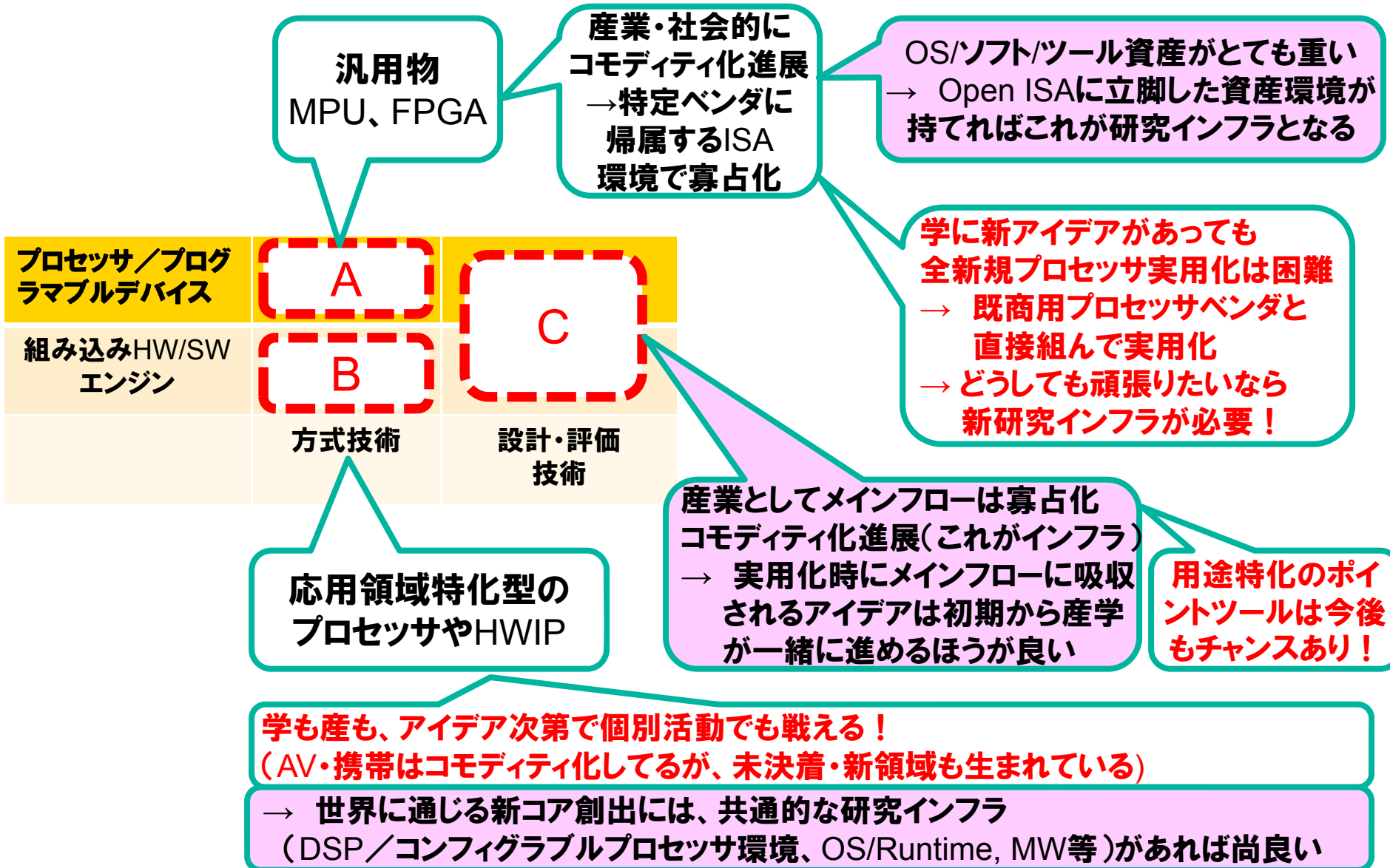
# 半導体に関わる研究インフラストラクチャー

## 産官学あるいは民間協業の研究インフラストラクチャー



基本実証のために活用 & 実用性実証の場

# ???領域：「ソフトウェア資産」こそがインフラである！



# 新プロセッサや新プログラマブルデバイスにチャレンジ

## されている先生方への提言・所感

- **アカデミアの研究開発における重要ミッションは、新規アイデアの創出・知見確立(論文化)と心得ます。**
- **同時に、科学技術として持続的に発展していくためには、学のアイデアが実際に世の中使われ、社会に役だっていくことが重要。そのためには産との連携が欠かせないとも考えます。**



- **プロセッサ、プログラマブルデバイス、ツール等を研究されている場合、出来ることならば、既事業を行っている産と早い時期から組んで、既商用設計資産やインタフェースをNDA開示してもらい、直接新アイデアの実装・実証を行うほうが、双方、非常に楽だと思えます。(逆に言えば、産側が関心示さないなら早めに諦めたほうが良いも言えます)**
- **全くの新しいプロセッサ、プログラマブルデバイス、ツール等の実用化を真剣に目指すのであれば、産官学で知恵を絞り(出来るだけ軽い形が良いですが)、新たな研究開発インフラ構築を目指すことも大事になると考えます。**
- **大学が中長期に研究テーマ深耕していく上では、研究インフラの存在・確立は大事だと考えます。**

Empowered by Innovation

**NEC**